県政に活力！ 地域にぬくもりを！

長崎県議会議員

山口はつみ（やまぐち　初實）だより No.17

平成21年４月　　発行責任者：山口初實　　編集責任者：榮　勇俊

県議会改革！ 3年目スタート!!

桜の花も満開となり春爛漫の季節を迎えました。皆様にはお変わりなくご健勝のこととお喜び申し上げます。

私も県議会議員として任期の半分となる2年が経過し、いよいよ後半に入り3年目の活動がスタートいたします。

今日まで皆様には、ご指導ご支援を頂き心から感謝申し上げますとともに、ご支援を頂いている皆様に、直接ご挨拶することが時間的にかなわず、反省しているところです。

春爛漫、大草街道桜坂

2年目の区切りとなる2月定例県議会が2月19日から3月18日までの28日間で開催されました。

特に今議会より、県議会の改革に取り組み、運営方式について大きく3つの項目について変更いたしました。

1つは、常任委員会を再編したこと。

2つ目は、予算特別委員会を設置したこと。3つ目は、一問一答方式を導入したこと。が挙げられます。

6つの常任委員会を4つに集約したことで、委員数が7・8人から11・12人となり、審議時間の関係で各人の質問時間を制限することなどが発生し、今後改善を図る必要を感じたところです。

予算特別委員会の創設については、県民生活に直接影響を与える予算案について皆様の立場に立って、さまざまな角度から検討分析して意見を述べる機会が充実できたことは、高く評価できると思っています。

従来は、本会議に上程された後は分割し、関係する常任委員会に付託して審議を行っていましたが、この方法では所属する委員会の予算案しか審議できないため、予算の配分が適正なのか疑問を持っても全体像が議論できませんでした。

この不具合解消に向け、予算特別委員会の全体会で審議した後、分科会で審議することにし、全体像も細部も徹底的に議論することなりました。

一般質問における一問一答方式については、従来の一括方式に加えて導入された質問方式であり、今回は3人の質問者が採用しました。

従来の一括方式は、質問者は演壇でまとめて質問を行い、理事者はまとめて答弁をするために、どの質問に対して答弁があっているのか解りづらいところがありました。

一問一答方式は、一問毎に答弁があり非常に解りやすくなったといえますが、質問者も答弁側も相当に勉強しておかなければならず、極めて緊張感のある質疑となります。

私も一般質問の機会を頂いたときには、一問一答方式にチャレンジしてみようと思っています。

県議会傍聴にも是非お出かけ頂き、更なるご支援ご指導をお願い致します。

長崎県議会議員　**山口　はつみ**

未来へと夢をつないで育てる緑
第33回全国育樹祭大会テーマ（H21年　百花台公園）

常任委員会構成を変更！

◆旧委員会（６委員会）
文教委員会　総務委員会　農林水産委員会
経済労働委員会　土木委員会　厚生環境委員会

◆新委員会（４委員会）
総務委員会　文教厚生委員会　環境生活委員会
農水経済委員会

◆特別委員会（４委員会設置）
離島・半島地域振興特別委員会
世界遺産登録推進特別委員会
行財政改革特別委員会　予算特別委員会

◆別途継続する委員会
県庁舎整備特別委員会
バイオラボ調査特別委員会（百条委員会）

総合交通・情報網整備促進特別委員会　委員長報告

私が委員長として務めていた、総合交通・情報網整備特別委員会の平成20年の活動状況について、2月議会の開会日に委員長報告を行いました。

付議事件は、「新幹線・航路・空路対策」、「幹線交通網対策」「情報網整備対策」です。

今回報告した主な内容は

1、九州新幹線西九州ルートに関して①諫早駅、新大村駅の整備について②フリーゲージトレインの進捗状況について③在来線の大村駅について、などです。

2、航路対策関係では、『離島航路補助制度改善検討会の中間取りまとめ』の検討状況について

3、航空路対策に関してＯＲＣの再生スキームについての対馬市、壱岐市、五島市の合意について

4、幹線道路整備に関しては、道路整備財源と道路整備中期計画について

5、地上デジタル放送の県内カバー率について

6、広域農道の整備について

等報告を行いました。

今後の課題（意見）としては

1新幹線長崎ルート諫早・長崎間の早期認可及びフル規格での整備について

2、離島航空路の維持・存続に係るＯＲＣの経営再生

3、ブロードバンド・ゼロ地域の解消

等の課題が山積しており、これからも更に審議を深めていく必要のある重要な課題であります。

文教厚生委員会報告

高機能病院統合問題を集中審議！

県が長崎市に新市立病院と日赤長崎原爆病院を統合し、ＪＲ長崎駅近くに移転することを求めて拒否された問題について、私が副委員長を務める文教厚生委員会で集中審議を行った。

各委員10分の持ち時間を集計し、各会派へ按分を行い、更に委員外委員にも発言を許可することで実施した。

審議の結果、再度協議が必要ではないかという意見と、市長が判断をした以上、慎重に対処すべきだとの意見に分かれた。

県は、長崎市から何らかの支援要請があれば検討したいと述べるに止まった。

批判意見としては、医師不足の問題など以前から議論をしていたのに提案が遅く、妥協もしない。県の押し付けと受け止められている。との声も上がった。

私見としては、県民に不安を与えないようにしっかりとした高機能病院構想を確立する必要があると判断します。

コラム江戸町

春爛漫、待望の球春がやってきた。暗いニュースがたえない昨今、ロサンゼルスから素晴らしい明るいニュースがもたらせられた。ＷＢＣにおける侍ＪＡＰＡＮの優勝である。

皆さんも手に汗しながらテレビに注目しておられたのではないでしょうか。

今シリーズ好調とはいえなかったイチローが、最後の最後にきっちり大仕事をやってくれました。サスガデス！

地元諫早市においては、西陵高校県道部が春の選抜全国県道大会において、見事に全国優勝を果しました。オメデトー！

清峰高校も甲子園で順調に勝ち進んでいます。この「山口はつみ、だより」17号が発行される時には、優勝旗が長崎県に勝ち取られていることを期待しています。頑張れ清峰高校！

平成21年の山口県議の新役職

☆文教厚生委員会、副委員長に就任
☆世界遺産登録推進特別委員会委員
☆予算特別委員会委員

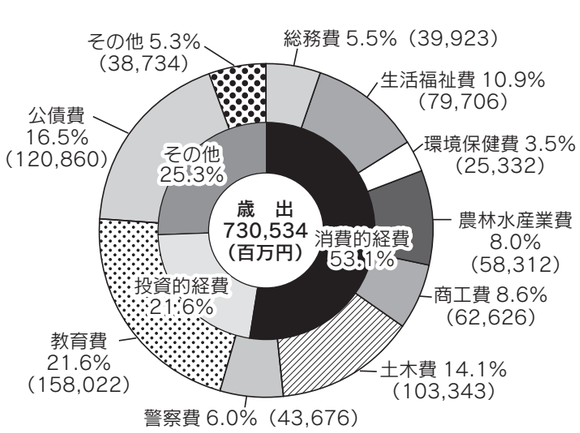
ご相談はお気軽に！

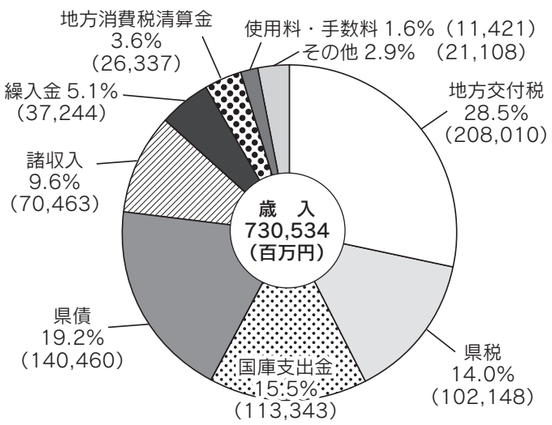
長崎県議会議員
山口はつみ

事務所：TEL･FAX 0957(43)2800
自　宅：TEL･FAX 0957(44)1003
携　帯：090（2514）9835
E-mail:hatumi@mrh.biglobe.ne.jp

この用紙は再生紙を使用しています。

平成21年度当初予算の状況





平成21年度当初予算一般会計　款別内訳

〔歳出〕

（単位：千円、％）

款別＼年度	平成20年度 当初予算 ①	構成比	平成21年度 当初予算 ②	構成比	増減額・伸び率 平成21年／平成20年 ②－①	③／①
1. 議会費	1,351,736	0.2	1,337,680	0.2	－14,056	－1.0
2. 総務費	40,140,882	5.5	39,923,084	5.5	－217,798	－0.5
3. 生活福祉費	78,956,367	10.7	79,706,053	10.9	749,686	0.9
4. 環境保健費	22,936,260	3.1	25,332,073	3.5	2,395,813	10.4
5. 労働費	2,007,689	0.3	5,059,941	0.7	3,052,252	152.0
6. 農林水産業費	68,701,422	9.3	58,311,654	8.0	－10,389,768	－15.1
7. 商工費	46,199,554	6.3	62,625,735	8.6	16,426,181	35.6
8. 土木費	100,759,057	13.7	103,343,585	14.1	2,584,528	2.6
9. 警察費	43,486,095	5.9	43,675,833	6.0	189,738	0.4
10. 教育費	160,604,970	21.8	158,021,717	21.6	－2,583,253	－1.6
11. 災害復旧費	3,289,286	0.4	3,018,504	0.4	－270,782	－8.2
12. 公債費	135,757,803	18.4	120,859,597	16.5	－14,898,206	－11.0
13. 諸支出金	32,516,301	4.4	29,118,248	4.0	－3,398,053	－10.5
14. 予備費	200,000	0.0	200,000	0.0	0	0.0
合計	736,907,422	100.0	730,533,704	100.0	－6,373,718	－0.9

2月定例県議会報告

県議会改革で運営方式を変更

・常任委員会を再編
・予算特別委員会を設置
・一問一答方式を採用

2月定例議会は、2月19日から3月18日までの28日間で開催された。
新年度予算7,305億3,400万円及び立石副知事の後任に中村総務部長を選任することに同意するなど82議案を可決した。
今議会の特徴としては、議会改革の一環として
●常任委員会を6から4委員会に集約した。
●予算特別委員会を設置し、総括質疑のあと各分科会で予算審議を行った。
●更に一般質問において、一括方式から一問一答方式を導入した。
県が長崎市に新市立病院と日赤長崎原爆病院の統合を求め拒否された問題については、文教厚生委員会で集中審議を行った。
また、委員会構成が再編されるに伴い、所属委員会の変更が行われ、私は文教厚生委員会副委員長に就任し、世界遺産登録推進特別委員会委員及び予算委員会委員を務めることとなりました。

可決された主な議案

1、平成21年度当初予算
県議会予算特別委員会及び分科会（総務、文教厚生、環境生活、農水経済）での審議を経て、本会議最終日に可決した。
①一般会計当初予算
総　額　7305億3400万円
前年比　△635億7300万円
②特別会計予算（港湾施設整備特別会計など11会計）
総　額　99億8300万円
前年比　△68億1400万円
③企業会計（交通事業会計など3会計）
総　額　77億2400万円
前年比　△75億6600万円

2、地方機関を再編する振興局設置条例案
県内7ヶ所に振興局を設置し、各部局ごとに分かれている地方機関を集約する内容
（私達の会派「改革21」は、各市町への説明責任が果されてない。住民サービスの低下をきたす。各市からの再編反対の陳情などがある。ことを考慮し、4月からの実施は拙速すぎるとして反対したが、自民会派の賛成多数で可決した）

3、立石副知事退任に伴う後任人事に同意
立石暁副知事が、3月末で任期を1年残し退任することになり、後任に総務部長の中村法道氏を起用することに賛成多数で同意。

4、各部局の主な事業
①NHK大河ドラマ「龍馬伝」関連事業（4事業集計）：観光振興推進本部　…130,684千円
龍馬伝をモチーフにした観光・物産展を全国13ヶ所の百貨店で開催。HTB観光丸を活用したPR
（神戸港ほか3港）

②（新）安心こども基金事業費（こども政策局）　…732,410千円
○保育所の新設の整備費助成（基金1／4、市町1／4、設置者1／4）
○認定こども園の整備費助成（基金1／4、市町1／4、設置者1／4）

③新型インフルエンザ対策（福祉保健部）　…290,296千円
タミフル（＋144,000名分）、リレンザ（＋15,000名分）購入、他

④全国育樹祭開催事業（農林部）　…270,100千円
平成21年10月4日、百花台公園で開催。会場設営、式典経費、他

⑤くらしの道緊急改良事業費（土木部）　…100,000千円
合併市町内の地域住民の生活に身近な道路の緊急改良

活動スナップ

下村脩博士、名誉県民として顕彰式

総務委員会で西海市・大島造船所視察

文教厚生委員会副委員長として、質疑を行う

JR九州小倉工場、総合交通情報網整備促進特別委員長として、フリーゲージトレインを視察